

## 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための信州大学の行動基準

本行動基準は、信州大学の学生、教職員が感染症拡大状況に応じ、適切かつ柔軟に行動する目安を示すためのものであり、それぞれの行動の運用や詳細は、下記通知等を参照してください。

- 信州大学の学生及び教職員に対する本学としての対応
- 新型コロナウイルスの感染拡大を防止する教育研究等の活動の指針
- 信州大学の関係する団体の活動及び大学施設を利用する活動に関する感染拡大防止対策の指針

### 赤枠が現在の段階

令和3年8月27日現在

段階	感染拡大状況の目安	研究活動 (研究指導含む)	授業 (講義・演習・実験・実習)	学生の課外活動	施設利用 (図書館、学外者利用)	入試	学内会議等	事務体制	出張・旅行	入構制限・その他
1	<b>【経過観察】</b> 海外発生期 小康期	①WHOが新型インフルエンザ等（新型コロナウイルスを含む）フェーズ4の宣言若しくはそれに相当する公表又は急速にまん延するおそれのある新感染症の発表を行った場合 ②感染症政府対策本部が設置された場合 ③WHOがポスト・パンデミック期であると発表を行った場合	・通常通り	・通常通り	・通常通り	・通常通り。ただし、入国制限のある受験生に配慮した選抜方法の工夫を実施	・通常通り。ただし、海外発生地域の参加者を含みうる国際会議等は入国制限に留意	・通常通り	・海外発生地域との不要不急の往來の制限、滞在者の退避 ・海外渡航届の徹底	・通常通り
2	<b>【注意】</b> 国内発生早期 小康期 長野県感染警戒レベル 1	①長野県内に感染者は発生していない、または散発的であるが、国内で感染者が一定数発生している場合 ②感染者の発生が一旦落ち着いている場合	・感染防止措置を講じた上で研究活動及び研究指導を実施 ・在宅での活動を活用	・感染防止措置を講じた上で対面授業を実施 ・オンライン授業も活用	・感染防止措置を講じた上で実施可	・感染防止措置を講じた上で実施。ただし、感染者等となった受験生のための追試験や、入国制限等のある受験生に配慮した選抜方法の工夫を実施	・感染防止措置を講じた上で実施。ただし、国内外発生地域の参加者を含みうる対面会議等に注意 ・テレビ会議等も活用	・感染防止措置を講じた上で実施 ・在宅勤務、時差出勤も活用	・海外発生地域との不要不急の往來の制限、滞在者の退避 ・国内発生地域との不要不急の往來の注意及び往來後の健康観察 ・海外渡航届の徹底	・構成員の健康管理の徹底 ・発熱等の有症者、感染者及び濃厚接触者の入構禁止
3	<b>【警戒】</b> 国内発生期 小康期 長野県感染警戒レベル 2～3	①長野県内に感染者は発生していない、または散発的であるが、国内で感染経路が特定できない感染者が一定数発生している場合 ②長野県内に感染者が一定数発生している場合 ③国内における感染者の発生が減少し、低い水準に留まっている場合	・感染防止措置を講じた上で研究活動及び研究指導を実施 ・在宅での活動を推奨	・感染防止措置を講じた上で対面授業を実施 ・オンライン授業も活用	・感染防止措置を講じた上で実施可。ただし、感染リスクの高い閉鎖空間（更衣室等）の利用を一部制限	・感染防止措置を講じた上で実施。ただし、感染者等となった受験生のための追試験や、入国制限等のある受験生に配慮した選抜方法の工夫を実施	・感染防止措置を講じた上で実施。ただし、流行地域の参加者を含みうる対面会議等を制限 ・テレビ会議等を推奨	・感染防止措置を講じた上で実施 ・在宅勤務、時差出勤を推奨	・海外発生地域との不要不急の往來の禁止 ・国内流行地域との不要不急の往來の自粛及び往來後の健康観察 ・海外渡航届の徹底	・構成員の健康管理の徹底 ・発熱等の有症者、感染者及び濃厚接触者の入構禁止 ・大学構成員の会食自粛 ・不要不急の来訪者の入構制限
3.5	<b>【感染警戒】</b> 国内感染期 長野県感染警戒レベル 4	①長野県内で感染者が増加・高止まりしており、警戒が必要となっている場合 ②学内において本学構成員に感染者が確認されているが、接触範囲が特定できている場合	・感染防止措置を徹底した上で研究活動及び研究指導を実施 ・在宅での活動を積極的に活用	・オンライン授業を積極的に活用 ・感染防止措置を講じた上で対面授業を実施 ・時間割の柔軟な運用	・感染防止措置を講じた上で実施可。ただし、感染リスクの高い活動や閉鎖空間（更衣室等）の利用を一部制限	・感染防止措置を講じた上で実施。ただし、感染者等となった受験生のための追試験や、入国制限等のある受験生に配慮した選抜方法の工夫を実施	・感染防止措置を講じた上で実施。ただし、流行地域の参加者を含みうる対面会議等を制限 ・テレビ会議等を積極的に活用	・感染防止措置を講じた上で実施 ・在宅勤務、時差出勤を積極的に活用	・海外発生地域との不要不急の往來の禁止 ・国内流行地域との不要不急の往來の自粛及び往來後の健康観察 ・海外渡航届の徹底	・構成員の健康管理の徹底 ・発熱等の有症者、感染者及び濃厚接触者の入構禁止 ・大学構成員の会食自粛 ・不要不急の来訪者の入構制限
4	<b>【活動制限】</b> 国内流行期 長野県感染警戒レベル 5	①長野県内で感染が顕著に拡大している場合 ②学内において本学構成員に感染者が確認され、感染拡大の恐れがある場合	・在宅でできる活動は在宅で実施 ・スプリットチーム制等で滞在者・滞在時間を限定し、感染防止措置を徹底した上で研究活動を実施	・授業はオンラインで実施 ・時間割の柔軟な運用 ・実験、実習、研究指導等のうち対面が不可欠なものに限り、部局長の許可を得て対面で実施 ・許可を得た学生の学内ネットワーク利用環境を提供	・全面禁止。ただし、大会出場等のやむを得ない事情に限り、許可を得て実施可	・感染防止措置を講じた上で実施。ただし、感染者等となった受験生のための追試験や、入国制限等のある受験生に配慮した選抜方法の工夫を実施	・対面会議は必要最低限とし、原則テレビ会議等で実施	・在宅でできる業務は在宅で実施 ・業務の絞り込みを行い、スプリットチーム制等で滞在者・滞在時間を限定し、感染防止措置を徹底した上で出勤	・長野県外との不要不急の往來自粛の徹底及び往來後の健康観察	・構成員の健康管理の徹底、不要不急の外出自粛 ・発熱等の有症者、感染者及び濃厚接触者の入構禁止 ・大学構成員の会食禁止 ・不要不急の来訪者の入構禁止 ・許可された者以外の学生の入構禁止
5	<b>【活動停止】</b> 国内まん延期 長野県感染警戒レベル 6	①長野県が新型インフルエンザ等（新型コロナウイルスを含む）緊急事態宣言対象地域となった場合 ②本学構成員に集団感染の連鎖が確認された場合	○原則、在宅での活動 ○必要最低限の教職員のみ短時間で以下の活動を実施 ・中止することにより大きな研究の損失を被ることになる長期間継続している実験 ・感染症対策に直接関わる研究 ・実験の終了・中断 ・研究機器や実験動物等の研究資産の維持・管理	・授業はオンラインのみで実施（教員は原則在宅にて行う） ・実験、実習等は時間割変更等よりの時間を確保 ・学内ネットワーク利用環境の停止	・全面禁止	・対面、集合による試験は、延期又は代替措置 ・変更不可能な試験は、非常時優先業務として万全の体制で実施。ただし、感染者等となった受験生のための追試験や、入国制限等のある受験生に配慮した選抜方法の工夫を実施	・会議自体を必要最低限に絞り、テレビ会議等で実施	・原則、在宅勤務 ・非常時優先業務に絞り、感染症対策及び大学機能維持のため、重要な事務を継続するための必要最低限の職員のみ出勤	・長野県外との不要不急の往來禁止 ・往來者の登録及び往來後の外出自粛措置	・構成員の健康管理の徹底、外出自粛措置 ・大学機能維持、最低限の研究活動維持のための教職員を除き、学外者も含め入構禁止
6	<b>【大学閉鎖】</b> 国内まん延期 長野県感染警戒レベル 6	①長野県が新型インフルエンザ等（新型コロナウイルスを含む）緊急事態宣言対象地域となり、休業要請がなされた場合 ②本学構成員に爆発的な感染拡大が確認された場合	○原則、在宅での活動 ○必要最低限の教職員のみ短時間で以下の活動を実施 ・研究機器や実験動物等の研究資産の維持・管理	・授業は休講又はオンラインのみで実施（教員は在宅にて行う） ・実験・実習等は時間割変更等よりの時間を確保 ・学内ネットワーク利用環境の停止	・全面禁止	・試験の延期又は代替措置	・テレビ会議等のみ	・原則、在宅勤務 ・大学機能を最低限維持するための必要最低限の職員のみ出勤	・すべての不要不急の往來を禁止	・構成員の健康管理の徹底、外出自粛措置 ・大学機能維持、研究資産維持のための必要最低限の教職員を除き、学外者も含め入構禁止。

※医療関係者及びコロナウイルス研究従事者はこの活動制限の適用範囲外とする。

※本学構成員に感染者が確認された場合は、保健所等の指示等に基づき、感染の恐れのあるエリアを封鎖し、消毒等を行う。

※この行動基準の段階は、全学共通を原則とするが、大学として感染状況に応じキャンパスごとに判断することがある。

※この行動基準は、新型コロナウイルス感染症に係る政府、長野県の対策及び本学の状況に応じ、随時見直しを行う場合がある。